

第 87 回全国健康保険協会香川支部評議会議事録

開催日時：令和 8 年 7 月 13 日（月）10：00～11：50

開催場所：全国健康保険協会香川支部 会議室

評 議 員：長山評議員（議長）、西尾評議員、芳我評議員、原田評議員、
藤井評議員、藤岡評議員、古屋評議員（副議長）、松木評議員、三好評議員
（五十音順）

議事

○報告事項

1. 協会けんぽの 2025（令和 7）年度決算見込み（医療分）について
2. 2025（令和 7）年度支部事業報告について
3. 中期戦略プランについて
4. 都道府県単位保険料率の平準化措置の取扱いについて

○その他

1. 協会けんぽ香川支部の概要

○報告事項

報告事項 1 協会けんぽの 2025（令和 7）年度決算見込み（医療分）について

【事務局より資料に基づき説明】

◆主な意見

【学識経験者】

令和 7 年度の決算は、収入増により収支差がプラスとなり、準備金の積立額が過去最高となったが、令和 8 年度は診療報酬の大幅な改定に加え、平均保険料率が 10.00%から 9.90%に引き下げられたことによる収支差をどのように見込んでいるのか。

【事務局】

令和 8 年度の収支差については、引き続き黒字を確保できる見込みでいるが、伸び率は鈍化すると思われる。また、今後の見通しとして、賃金上昇率 1.8%、医療給付費の伸び率 2.8%、平均保険料率 9.9%と仮定した場合、今後約 8 年間は準備金積立額の伸びは鈍化するものの収支差は黒字を維持する見込みである。

【学識経験者】

今後も準備金が更に積み上がる予想の中で、準備金を取り崩す局面になれば、急速に減

少することも想定される。経済情勢や平均保険料率の水準など様々な課題があることは承知しているが、引き続き加入者への更なる還元を期待する。

【事業主代表】

中小小規模事業所の場合、必ずしも事業所の余裕がある状態で賃金を引き上げている訳ではなく、人材確保の観点から、他社の賃上げ状況を踏まえ、経営者自身が負担を背負いながら、賃上げを実施している状況である。

今後も現在の賃金上昇率を継続して維持できるかについては懸念があり、大手企業と比べて、価格転嫁が厳しい中小小規模事業所があるので、賃金上昇率が低下した場合も想定した検討が必要である。

【事業主代表】

現状でも厳しさを感じており、賃金上昇率 1.8%を継続した前提は、机上の空論に思える。

【学識経験者】

インフレ率については、2%程度が標準的な水準と見込まれる一方で、賃金についても同様の水準で上昇が続けられるかは不透明である。特に中小小規模事業所においては、賃上げが難しいケースも考えられる。

【被保険者代表】

従業員は賃上げがされているが、役員は逆に報酬を下げているケースも多く、経営者が負担を強いられながらの賃上げがどこまで続けられるのか疑問を感じている。

【事務局】

10 月の評議会では、賃金上昇率だけでなく医療給付費の伸び率等も考慮した収支の試算結果をお示しする予定であり、引き続き貴重なご意見を賜りたい。

【学識経験者】

令和 8 年度診療報酬改定に係る賃上げならびに物価対応はどのような予定なのか。

【事務局】

令和 8 年度の医療機関の経営状況等について調査を実施し、実際に支給される給与に係る賃上げ措置の実績把握を行う。その後、実際の経済・物価の動向が令和 8 年度診療報酬改定時の見通しから大きく変動し、医療機関等の経営状況に支障が生じた場合は、令和 9 年度予算編成において加減算を含めた必要な調整を行う予定である。

【学識経験者】

健康保険料の徴収率はどういう状況か。

【事務局】

徴収業務は日本年金機構に委託しており、令和7年度は98.1%と高い徴収率となっていることから、適切に実施されていると考えている。

報告事項2 2025（令和7）年度支部事業報告について

【事務局より資料に基づき説明】

◆主な意見

【学識経験者】

事業所に対して健診データの提供を義務付けることはできないのか。

【事務局】

現在法律上では、事業所に健診データの提供を義務付けているが、様々な事情によりご提供いただけていないのが現状である。今後オンラインカルテを導入する医療機関で健診を受診された方については、保険者へ健診データが提供されるようになるので、取得率は向上する見込みである。

【学識経験者】

ジェネリック医薬品使用割合が89.2%と全国平均との差が1.0ポイント程度にも関わらず、全国39位となっている。この結果を踏まえると、現状は伸びが限界に近い状況であり、KPIの設定自体を見直す必要があるのではないかと。

【事務局】

貴重なご意見として頂戴する。現在KPIで示しているものは数量ベースのものであるが、別の指標として金額ベースがある。金額ベースにおいても、香川支部は下位に位置しているため、引き続き啓発に努めていく。

【事業主代表】

ジェネリック医薬品の使用促進にあたって、ジェネリック医薬品の安全性や効能性について、十分に加入者に伝わるよう積極的な広報をお願いしたい。

【事務局】

貴重なご意見として頂戴する。

報告事項 3 中期戦略プランについて

【事務局より資料に基づき説明】

◆主な意見

(質問・ご意見なし)

報告事項 4 都道府県単位保険料率の平準化措置の取扱いについて

【事務局より資料に基づき説明】

◆主な意見

【学識経験者】

この取扱いの目的については賛同しており、都道府県に医療費適正化の自助努力を求める仕組みだと理解している。しかし医療水準は高齢化率や医療資源の地域偏在など都道府県の自助努力だけでは是正しがたい構造的要因に大きく左右されと考えており、結果として、地域間格差の固定化、拡大につながることを懸念している。

【事務局】

貴重なご意見として頂戴する。

○その他

協会けんぽ香川支部の概要

【事務局より資料に基づき説明】

◆主な意見

【学識経験者】

加入者一人当たりの入院医療費が全国平均よりも高く、昨年度と異なる傾向で推移しているが、要因は把握できているのか。

【事務局】

全国と比較して受診率および1件当たりの入院日数が高い傾向にある。今後は詳細な疾病別の分析等を検討していく。

以上

令和 8 年 7 月 13 日